(第2号様式)

(1)全モデルプランの統括的な概要

モデルプランの設置面積	50㎡∼75㎡
モデルプランの重量	18000kg~22000kg
モデルプランの導入コスト	20000万円~22000万円
モデルプランの年間運用コスト	180万円~240万円

(2)モデルプランに使用され得る機器情報

	(ア)再エネ電力設備 情報													
	発電A		太陽光		30 kW		43800 kWh/	年	400 r	า๋		万円		設置場所や周辺環境で発電量や設置面積が変更となる可能性があります。
設	発電B	再			kW	発	kWh/	年	r	า๋	7	万円		
置機	発電C	エネ		発電	kW	規模	kWh/	年 置	r	า๋	<u>۲</u>	万円	備	
器情	発電D	の 種		容量	kW	一 (矢 - (左	kWh/	年 積	r	า๋	任章	万円	考	
報	発電E	別			kW	+	kWh/	年	r	า๋	忠	万円		
	発電F				kW		kWh/	年	r	า๋		万円		

									(1)) 水素製造	設備	情報														
	製造A		固体高分子(PEM)形水電解装置	١,														5	Nm³/h		1450	kg	W	900 D	1700 н	2000
設	製造B		固体高分子(PEM)形水電解装置	١					機				機種				水	5	Nm³/h		1500	kg	W	3200 D	800 н	2200
設置機	製造C	種		7 7					祖 名				型番				素製		Nm³/h	重		kg -	, w	D	Н	
器情	製造D	別		名(任					任意				任				造能		Nm³/h	量		kg	ŧ W	D	Н	
報	製造E			意									意				カ		Nm³/h			kg	W	D	Н	
	製造F			Ú															Nm³/h			kg	W	D	Н	
	製造A		劣化率		0.19%/1,000時間		0.19%/1,000時間		コールドス	スタート			30科	У		30秒以下				Э.	i円					
2	製造B		触媒貴金属量(PGM)		2.7mg/W		O.Omg/W (不使用)		エネルギー	一消費量		4.9	kWh/	/Nm3		4.8kWh/Nm3	3	_		Э.	i円					
2	製造C	項		目 標 値		実績		項目				目標			実績			スト		Э.	i円					
年 度	製造D	1		值 ①		值 ①		2				值 ②			値 ②			任意		Э.	ĭ円					
標	製造E																	<u> </u>		Э.	i円					
	製造F																			Э.	i円					
	製造A	国	崔製で納入実績が多く信頼性、サオ	パート	で優れている。							製造A	固体高	高分子型水電解	方式 (P	PEM式)により高い純度(99.99	9%) の水	素製造が可能で	ある。り	燃料電池やFC	EV,FCフォ	ナークリ	Jフトの燃料としても活.	用できる純度の水素	製造が可能。
	製造B	高刻	効率でメンテコストは製造Aに比べ	低く	抑えることができる。							製造B	AEI	M型水電解	装置。	となりゼロ起動時に	は、タ	E格運転	まで時間を	要す	る場合も	ある				
特	製造C									倩	ŧ	製造C														
徴	製造D									孝	Š	製造D														
	製造E											製造E														
	製造F											製造F														

									(ウ)水津	於文数值	情報												
	貯蔵A		水素吸蔵合金												100 Nm		1400 1	g	W	477 i	75	50 н	1300
設	貯蔵B			メー				村工	機			機種		水	Nm		1	g	W])	Н	
置機	貯蔵C	種		カーな					機 種 名			機種型番		素貯	Nm	重	1	g	₹ W])	Н	
設置機器情報	貯蔵D	種 別		— 名 (任				Í	<u>〔</u>			任		水素貯蔵能	Nmi	重	1		法 W	1)	Н	
報	貯蔵E			任意)				Ā.	意 			意)		カ	Nmi		1	g	W	1)	Н	
	貯蔵F														Nmi		1	g	W	1)	Н	
	製造A		ガス(低圧)		< 1 Mpa		万円										•	•					
設	製造B	貯蔵			Мра		万円																
置機	製造C	時の		F	Мра	スト	万円																
設置機器情報	製造D	水素の		<u></u> 圧 カ	Мра	任意	万円																
報	製造E	状態			Мра	·	万円																
	製造F				Мра		万円																
	製造A	吸蔵のため)省スペース化、高圧ガス	、可燃	物の貯蔵に当たらず土地	地用途	金の制限を受けにくい				製造A												
	製造B										製造B												
特徴	製造C									備考	製造C												
徴	製造D									考	製造D												
	製造E										製造E												
											製造F												
	製造F										汉區!												
	製造F								(工) 水道	利用設備													
	製造F 利用A		純水素型燃料電池						(工) 水源	利用設備					6 Nm²/	1	170	rg	W	795 1	39	96 н	1797
設			純水素型燃料電池	*						以利用散備		機種		-14	6 Nm²/	_		rg rg	W) 39	96 H Н	1797
設置機	利用A	種	純水素型燃料電池	メーカーな				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	機 種 名	科用數備		機種型番		水素和		1	1	g	-	1			1797
設置機器情	利用A 利用B	種別	純水素型燃料電池	一名				í	機	料用數備		種 型 番		水素利用	Nm³/	i i i 重	1	g g	W])	Н	1797
設置機器情報	利用A 利用B 利用C	種別	純水素型燃料電池	Ĩ				í	機種名(任意	*利用設備		種型番(任意		水素利用量	Nm²/	重量	1	g g	W 행보	1)	H H	1797
設置機器情報	利用A 利用B 利用C	種別	純水素型燃料電池	一名				任意	機種名(任意	人		種型番(任		水素利用量	Nm²/	重量	1	g g g	寸 W W W]]])	H H H	1797
設置機器情報	利用A 利用B 利用C 利用D	種別別		一名	<i>й</i> н			任意	機種名(任意	 		種型番(任意		水素利用量	Nm²/ Nm²/ Nm²/	重量	1	g g g	寸 法 W W]]])	H H H	1797
-	利用A 利用B 利用C 利用D 利用E			- 名 (任意) コ	<i>Б</i> Р			任意	機種名(任意	素利用設備		種型番(任意		水素利用量	Nm²/ Nm²/ Nm²/	重量	1	g g g	寸 法 W W]]])	H H H	1797
-	利用A 利用B 利用C 利用D 利用E 利用F		6.5 kW	- 名 (任意) コスト				任意	機種名(任意	素利用設備		種型番(任意		水素利用量	Nm²/ Nm²/ Nm²/	重量	1	g g g	寸 法 W W]]])	H H H	1797
-	利用A 利用B 利用C 利用D 利用E 利用F 利用A		6.5 kW	- 名 (任意) コスト	万円			任意	機種名(任意	人		種型番(任意		水素利用量	Nm²/ Nm²/ Nm²/	重量	1	g g g	寸 法 W W]]])	H H H	1797
設置機器情報設置機器情報	利用A 利用B 利用C 利用D 利用E 利用F 利用A 利用A		6.5 kW	- 名 (任意) コ	万円			任意	機種名(任意	以		種型番(任意		水素利用量	Nm²/ Nm²/ Nm²/	重量	1	g g g	寸 法 W W]]])	H H H	1797
-	利用A 利用B 利用C 利用D 利用E 利用F 利用A 利用A		6.5 kW	- 名 (任意) コスト	万円 万円 万円			任意	機種名(任意	以外的		種型番(任意		水素利用量	Nm²/ Nm²/ Nm²/	重量	1	g g g	寸 法 W W]]])	H H H	1797
-	利用A 利用B 利用C 利用D 利用E 利用F 利用A 利用A 利用B	発電容量	6.5 kW	- 名 (任意) コスト	万円 万円 万円 万円			任意	機種名(任意	大利用数值		種型番(任意)	i連系で使用の場合は、OkW~6.5	量	N㎡/ N㎡/ N㎡/	重量	1 1 1 1	rg rg rg	w W W W W	1		H H H	1797
-	利用A 利用B 利用C 利用D 利用E 利用A 利用A 利用B 利用B 利用D	発電容量	6.5 kW kW kW	- 名 (任意) コスト	万円 万円 万円 万円			任意	機種名(任意	以外,不知,不知,不知,不知,不知,不知,不知,不知,不知,不知,不知,不知,不知,	情報	種型番(任意)	連系で使用の場合は、OkW~6.5	量	N㎡/ N㎡/ N㎡/	重量	1 1 1 1	rg rg rg	w W W W W	1		H H H	1797
設置機器情報	利用A 利用B 利用C 利用D 利用E 利用A 利用B 利用C 利用D 利用B	発電容量	6.5 kW kW kW	- 名 (任意) コスト	万円 万円 万円 万円			任意	機種名(任意		利用A	種型番(任意)	i連系で使用の場合は、OkW~6.5	量	N㎡/ N㎡/ N㎡/	重量	1 1 1 1	rg rg rg	w W W W W	1		H H H	1797
-	利用A 利用B 利用C 利用D 利用E 利用F 利用A 利用B 利用D 利用D 利用D 利用D 利用B	発電容量	6.5 kW kW kW	- 名 (任意) コスト	万円 万円 万円 万円			任意	機種名(任意	以外,不知,不知,	利用A 利用B	種型番(任意)	:連系で使用の場合は、OkW~6.5	量	N㎡/ N㎡/ N㎡/	重量	1 1 1 1	rg rg rg	w W W W W	1		H H H	1797
設置機器情報	利用A 利用B 利用C 利用D 利用E 利用A 利用B 利用B 利用D 利用B 利用B 利用B	発電容量	6.5 kW kW kW	- 名 (任意) コスト	万円 万円 万円 万円			任意	機種名(任意		利用A 利用B 利用C	種型番(任意)	i連系で使用の場合は、OkW~6.5	量	N㎡/ N㎡/ N㎡/	重量	1 1 1 1	rg rg rg	w W W W W	1		H H H	1797

		法令等の名称が	及び必要	要な対応	
ī)	法令等の名称	特になし。(吸蔵合金による100Nm3以下の水素貯蔵により、高圧保安法、消防法、建築基準法に抵触しない。)	0	法令等の名称	
	必要な内容)	必要な内容	
9	法令等の名称		0	法令等の名称	
	必要な内容		9	必要な内容	

(4)モデルプランの統括的な運営管理に係るコスト

	再エネ電力に関するコスト		万円/年	~		万円/年	備考	
雷	一連の機器の保守管理に関 するコスト	180	万円/年	~	240	万円/年	備考	メーカーによる定期保守点検費、遠隔監視費、消耗品交換費用など。ただし不具合対応や水電解スタックの交換費用は別途実費
建営コス	○○コスト		万円/年	~		万円/年	備考	
	○○コスト		万円/年	~		万円/年	備考	
	合計	180	万円/年	~	240	万円/年	備考	

(5)普及啓発活動例(当該モデルプランを申請する機器を設置する事業者が普及啓発を行うことが要件となっています。機器の特徴を踏まえた普及啓発活動について御提案ください。)

Œ	活動内容	データ収集ソフト、通信機器導入によって水素の製造、使用量の見える化が図れ、サイネージや自社HP上にデータを掲載することで 外部へ水素の利活用PRをすることができる。	必要コンテンツ	データ収集ソフト、通信機器、モニターまたはそれに類する掲示物。
(2	活動内容	各機能をモジュール化し配置しているため、見学者への説明が容易。 また、同様のモデルを当社自社ビルに設置済み、導入前に実際の設備見学が可能。	必要コンテンツ	
3	活動内容		必要コンテンツ	

- ※モデルブラン公表に当たって ・モデルブランについては、あくまで導入していただくための目安となる事例です。 モデルブランを導入する事業者における設置環境や利用状況などによって、設置機器の構成や設置コスト、運用コスト等は変動します。 モデルブランを提示している水電解装置等の製造メーカー等、本ブランの問合せ先と十分調整のうえ、導入をしていただくこととなります。

(第2号様式) 別紙1

(1)組み合わせに関する情報(概要)

モデルプラン区分	パッケージモデルプラン									
モデルプラン名称	再エネ発電による水素製造と貯蔵及び燃料電池による発電パッケージ									
	再生可能エネルギー電流	力設備		発電A						
モデルプラン設備構成	水素製造設備		製造A							
モナルノフノ政備傳収	水素貯蔵設備			貯蔵A						
	水素利用設備		利用A							
設置面積	50	m [‡]	~	~ 60 m²						
合計重量	20,000	kg	~	~ 21,000						
導入コスト	22,000	万円	~ 23,000 万円							
再エネ電力			①再エネ電力設備の設置							
再エネ電力の 使用イメージ ※各数値記載ください	①の場合 発電電力 30kW/h 、 水素製造量の見込み 5Nm ³ /h									

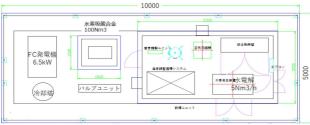
※設置面積~導入コストは範囲目安を記載ください。

モデルプランの概要説明

水素製造能力:最大5Nm3/h、貯蔵能力:100Nm3(水素吸蔵合金による貯蔵)、利用設備:純水素型燃料電池発電機6.5kW×1台燃料電池発電機は負荷追従や自立運転が可能、電源の用途を選ばず使用が可能。 水素を高圧ガスとして製造・貯蔵しない設備構成とし専用の制御盤で管理、通常の運用・管理に選任者を配置することなく運用可能。

モデルプランの設置想定 想定業種:オフィスビルや工場事務所、企業の研修施設などのピークカット、BCP用途として活用可能。 想定エリア:都内全域





想定される使い方: 日中のPV発電で作った水素による燃料電池の発電で

夕刻の電力ピークカットや、非常時の発電として活用 ■導入設備概要

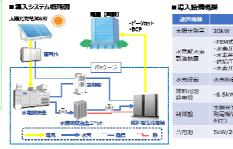
・PEM式 ・水素ガス供給量:Max 10Nm3/h ・水素約8:99,999% - 供給円:0,82Mpa ・水素ガス応点:-70°C

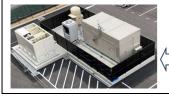
太陽光発電機、永素製造、燃料電池 発電機や、吸減合金の熱マネジメント を行う

水素吸融合金:100Nm3

-6.5kW

5kW/20kWh





設置事例

同様の設備を当社の自社ビルに設置、愛知県の中部圏低炭素認証制度の認証を受け稼働中 机上で検討された設備とは異なり、運用実績がある設備提案をおこなえます。

また、当社は設計から施工をワンストップで行う事が出来、各種届け出等のサポートもできます。

		V	発電した電力量が把握できること。 ※再エネ発電設備を設置の場合のみ
	再		使用した電力量が把握できること。 ※再エネ電力メニュー使用の場合のみ
	エネ		発電した電力量及び使用した電力量が把握できること。 ※発電設備設置と電力メニュー使用の場合のみ
		য	【共通】(イ)の製造量に応じた発電量もしくは買電量になっていること。
	制	V	水素の製造量を把握できるものであること。
確認事項 ※該当事項	製造	✓	水素の純度がISO14687-2で規定された基準に準じているものであること。 ※ボイラー利用の水素は除く
をチェック	貯 蔵	Ŋ	(イ)の製造量に応じた貯蔵方法、貯蔵量であること。
		Ø	純水素型燃料電池及び水素燃料ボイラー等であって、十分な機能を果たすものを選択可能であること。
		☑	水素の利用量、利用先を把握できるものであること。
	利 用		ボイラー利用及び温水利用の場合、水素燃料のみを使用する機器(業務・産業用水素燃料ボイラー又は温水発生機)であり、東京都低NOx・低CO2小規模燃焼機器認定を受けた設備であること。
			燃料電池車両等に水素を供給する設備の場合、助成対象事業者が自ら使用(<mark>所有)</mark> する燃料電池自動車又は燃料電池フォークリフト等に水素を供給する定置式の設備であること。

(2)組み合わせに関する情報(経費、コスト)

	I.	公 分		設置に要する経費	
	Ľ	277	単価 [千円]	数量	経費 [千円]
		設計費 小計			
	設計費				
		設備費 小計			11,900
æ		太陽光設備	100	30	6,000
再生	設備費	蓄電池	5,000	1	5,000
可能		パワーコンディショナー	300	3	900
エネ		工事費 小計			6,500
ルギ		太陽光工事費	100	30	6,000
電電	工事費	蓄電池工事費	500	1	500
力 設					
備		諸経費 小計			3,000
		諸経費	3,000		3,000
	諸経費				
	再エネ	電力設備 小計			21,400
			経費計		21,400千円

		조 分		設置に要する経費	
	※ワンパッ	ケージモデル	単価 [千円]	数量	経費 [千円]
		設計費 小計			15,000
	設計費	設計費			15,000
		設備費 小計			155,000
ワ		ユニット・カバー			50,000
ン	設備費	水素製造・貯蔵・利用機器			91,000
パ		補器類			4,000
ツ		統合制御盤			10,000
ケー		工事費 小計			32,000
ジ		基礎工事			15,000
モデ	工事費	ユーティリティ工事			10,000
ル		ユニット工事			7,000
費 用		諸経費 小計			18,000
		諸経費			18,000
	諸経費				
	再エス	】 木電力設備 小計			220,000
		·····································			220,000千円

	12			設置に要する経費	
		- ਸ	単価 [千円]	数量	経費 [千円]
		設計費 小計			
	設計費				
	54134				
水					
素製		設備費 小計			
造					
設備	設備費				
VH3					
	水素類	製造設備 小計			
			経費計		

	la.			設置に要する経費	
		-ਸ	単価 [千円]	数量	経費 [千円]
		設計費 小計			
	設計費				
	541.54				
水素					
貯		設備費 小計			
蔵					
設備	設備費				
VHI					
	水素原	拧蔵設備 小計			
			経費計		

	D.	· :分		設置に要する経費	
		·ガ	単価 [千円]	数量	経費 [千円]
		設計費 小計			
	設計費				
	BART SA				
水					
素利		設備費 小計			
用					
設備	設備費				
VHI					
	水素製	利用設備 小計			
			経費計		

	12			設置に要する経費	
		·ガ	単価 [千円]	数量	経費 [千円]
		工事費 小計			
	工事費				
工重	_,_				
事費					
及		諸経費 小計			
び 諸					
経費	諸経費				
費	придо				
			経費計		

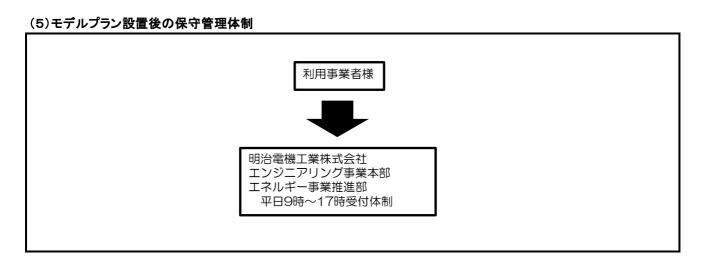
				設置に要する経費	
		·ガ	単価 [千円]	数量	経費 [千円]
		設計費 小計			
	設計費				
	BARTS				
その					
他		設備費 小計			
設					
備等	設備費				
-71					
	その	他設備 小計			
			経費計		

(3)組み合わせによる年間の運営コスト

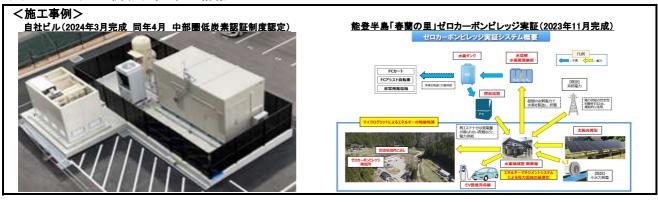
	l-r	· /\		設置に要する経費	
	×	分	単価 [千円]	数量	経費 [千円]
		光熱水費 小計			200
	光熱水費	水道料金			200
	72/11/7/				
		保守管理費 小計			2,200
		水電解装置メンテ費用			1,500
	保守管理費	燃料電池メンテ費用			200
		その他保守管理費			500
潘		諸経費			
運 営					
コス					
<u>۱</u>					
	再工ネ	電力設備 小計			2,400
	•		経費計		2,400千円

(4)組み合わせによる主な法規制とその対応

		法令等の名称及び必要な対応
1	法令等の名称	本設備で該当する法規規制は基本的にはないが、所轄の届け出先に事前相談を推奨する。
U	必要な対応	
2	法令等の名称	
	必要な対応	
3	法令等の名称	
3	必要な対応	
4	法令等の名称	
4	必要な対応	
5	法令等の名称	
9	必要な対応	
6	法令等の名称	
0	必要な対応	
7	法令等の名称	
	必要な対応	
8	法令等の名称	
0	必要な対応	



(6)モデルプランに関するその他の情報



(第2号様式) 別紙2

(1)その他の設備情報 ※別紙1のモデルプランにおいて純水製造装置、圧縮機、監視装置など製造から利用までで必要な機器のうち主要なものを記載ください。

<u>.u</u>															
	設備名称			冷	却塔										
(任意)				重量	740	kg	寸法	w	1870	D	2350	Н	2450	(任意)	万円
使用方法	水電解装電	置、炒	燃料電池の冷却および吸蔵合金の温度マネジメントを行う												
特徴	チラーと」	比較し	比較して消費電力が小さい												
		基準							対原	ជ					
法規制	対象の基準と対応	基準							対原	ដ					
		基準							対原	ដ					
	備考														

(第2号様式) 別紙3

モデルプランのうちの代表例における標準工期

※24か月より長く工期がかかる場合は、別紙に以降のスケジュールを記載し添付してください。

工程	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	12ヶ月日
交付決定通知	•											
詳細設計												
機器製作												
PV手配・据付け工事												
く素設備据え付け工事												
試運転												
引き渡し・検収												

工程	13ヶ月目	14ヶ月目	15ヶ月目	16ヶ月目	17ヶ月目	18ヶ月目	19ヶ月目	20ヶ月目	21ヶ月目	22ヶ月目	23ヶ月目	24ヶ月目
交付決定通知												
詳細設計												
機器製作							\longrightarrow					
PV手配・据付け工事												
水素設備据え付け工事												
試運転												
引き渡し・検収												

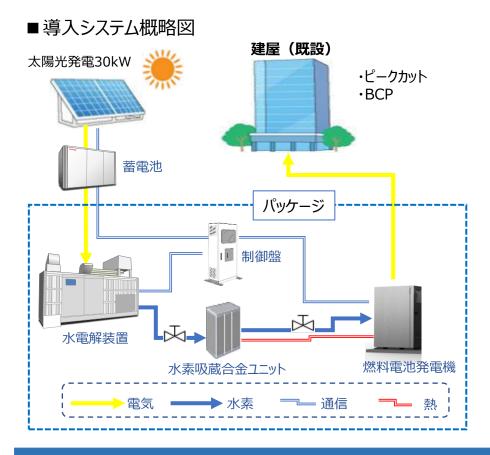
標準工期における留意点

- ・水電解装置、水素吸蔵合金、FC発電機、制御盤が長納期品となるので交付決定次第、発注させていただきます。 ・部材不足により納期が遅れる場合がございます。

■システム概要

くシステム構成>

太陽光で発電した電力を水電解装置に給電し水素製造を行う、製造した水素は水素吸蔵合金に貯蔵し必要なタイミングで燃料電池発電機に供給し発電を行う。発電した電力は事業所やオフィスの電力として消費する



■導入設備概要

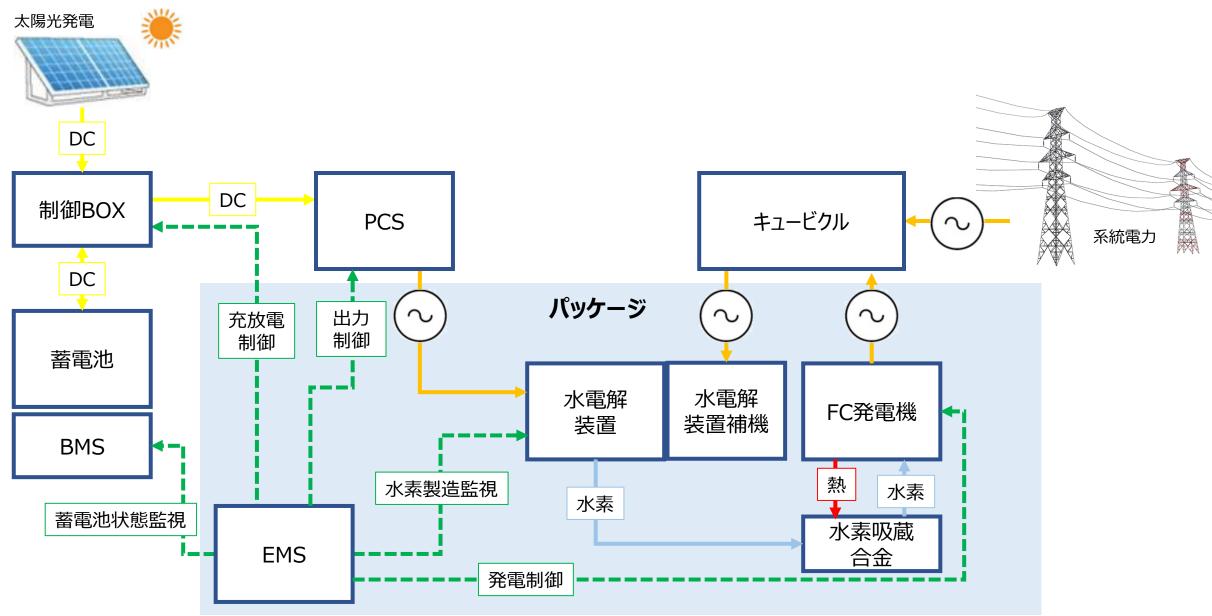
設置機器	仕様
太陽光発電	30kW
水電解水素 製造装置	・PEM式 ・水素ガス供給量: Max 10Nm3/h ・水素純度: 99.999% ・供給圧: 0.82Mpa ・水素ガス露点: -70℃
水素貯蔵	水素吸蔵合金: 100Nm3
燃料電池 発電機	・出力:6.5kW ・負荷追従可能:系統連系時0~6.5kW ・自立運転可能: 2 KVA~6.5KVA
制御盤	太陽光発電機、水素製造、燃料電池発電機や、吸蔵合金の熱マネジメントを行う
蓄電池	5kW/20kWh (発電状況に合わせて選択)

<運用方法>

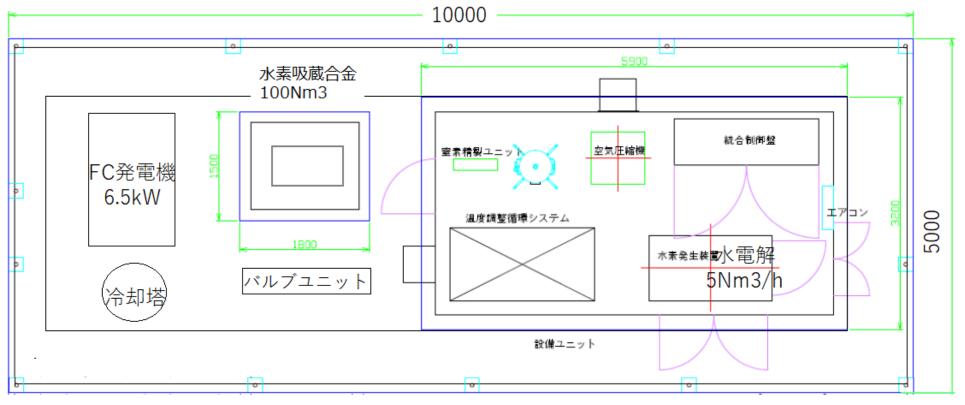
太陽光発電により水素製造を行い、水素吸蔵合金に貯蔵、建屋の電力ピークカットや非常時に燃料電池発電機による電力供給を行うシステム

蓄電池の運用は、太陽光発電量が少ない時間帯の電力は一旦蓄電し、水素製造装置が効率よく水素製造できるよう太陽光発電量を考慮し放電を行う。

■システムフロー図



■設置イメージ





<施工事例>

自社ビル(2024年3月完成 同年4月 中部圏低炭素認証制度認定)

能登半島「春蘭の里」ゼロカーボンビレッジ実証(2023年11月完成)

